

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-29	小学校	算数科	算数	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 206 算数 207	小学算数 2上 小学算数 2下		

## 1. 編修の基本方針

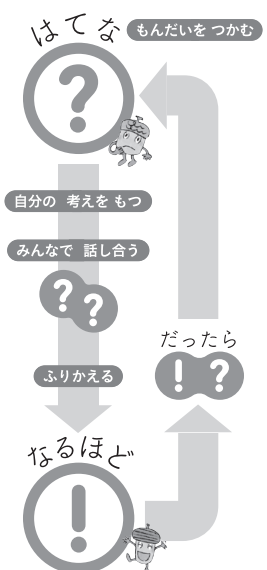
社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書は、教育基本法が掲げる教育の目的及び目標の実現に向けて、以下の基本方針のもとに執筆・編修にあたりました。

## 問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる

- 1** 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて  
**子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書**
- 2** 思考力・判断力・表現力の育成のために  
**数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書**
- 3** 生きて働く知識・技能の習得のために  
**学びと学びを系統的につなげる教科書**
- 4** 学びに向かう力、人間性等の涵養のために  
**学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書**



# 1

## 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて 子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書

深い学びは，“問い”をもつことから始まります。“問い”をもち、学び合いを通して解決することで、学ぶ前よりも一歩成長することができます。そのような子ども一人一人の深まりを大切に、教科書を構成しています。

### 問いの連続でつくる数学的活動

子どもの「**はてな**」から**学習めあて**をつくり、主体的・対話的な学びを通して「**問い**」を深め、**なるほど**を見だし、さらに、**新たな**「**問い**」へとつなげていきます。

学習めあてとなる子どもの問い

学びを深める問い

見方・考え方のまとめから、  
新たな問いへ

1 **計算のしかたを考えましょう。**

**はてな** 24+15のような計算は、どうすればいいのかな。

みなと

2 **みなとさんとゆきさんの考えをいみましょう。**

ゆきさんは、どうして数を分けたのかな。

ゆきさんの数をブロックでせつ明すると……

2人が10、10がいくつ、1がいくつに分けて考えているんだ。

**なるほど** 2+1  
4+5

みんなて、見しよう。私たちはどう考えているかな。

自分の考えといているところやちがうところは……

4 **学習をふりかえりましょう。**

**なるほど** 2けたの計算になっても、位ごとに数を分けて考えると、1けたどうしの計算でできたね。

**かえで**

**だったら** ほかの数でも同じように考えてできるかな。

**はる**

**たしかめ** 2けた+2けたの計算

1 35+12の計算のしかたを

▲ p.23-25

### 「単元のまとめ」で学ぶ意義を実感する

単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしています。

単元末「学んだことをつかおう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「何ができるようになったのか」を実感できるようにします。

単元導入

単元導入

2 **学校の生活は、毎日決まっています。明日は、満足です。何時に何をやるのかな？**

学校を出る  時

お風呂につく  時  分

ごはんを食べる  時  分

お風呂に入る  時  分

お風呂を出る  時

単元末

**時間のつかい方を考えよう！**

① 午前8時から午後5時までの間に、②から④のことをします。時間毎に「何をやるのか」を「何分」で「何分」の時間をかきまわします。

⑤ 午前8時 (8:00) ⑥ 午後5時 (17:00)

⑦ 午前8時 (8:00) ⑧ 午後5時 (17:00)

⑨ 午前8時 (8:00) ⑩ 午後5時 (17:00)

⑪ 午前8時 (8:00) ⑫ 午後5時 (17:00)

▲ p.15

▲ p.20

3 **通塾のおかしを買いにきました。おかしを2つえらぼう！**

22

おかし売り場

りんご 1個 5円  
バナナ 1本 10円  
チョコレート 1個 20円  
おかし 1袋 10円  
おかし 1袋 15円  
おかし 1袋 20円  
おかし 1袋 25円  
おかし 1袋 30円  
おかし 1袋 35円  
おかし 1袋 40円  
おかし 1袋 45円  
おかし 1袋 50円

▲ p.22

単元末

**100円でえらぼう！**

① 22ページのおかしを、100円までで買えるおかしをえらびましょう。あわせて、何円になるでしょうか。

100円: 100円

りんご 1個 5円  
バナナ 1本 10円  
チョコレート 1個 20円  
おかし 1袋 10円  
おかし 1袋 15円  
おかし 1袋 20円  
おかし 1袋 25円  
おかし 1袋 30円  
おかし 1袋 35円  
おかし 1袋 40円  
おかし 1袋 45円  
おかし 1袋 50円

キャラクターとチョコレート: 50+30=80  
それから、おかしを1袋買います。 80+10=90  
おかしを2袋買います。 80+15=95  
おかしを3袋買います。 80+20=100

▲ p.33

# 2

## 思考力・判断力・表現力の育成のために 数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書

数学的な見方・考え方を顕在化し、繰り返し用いてきていることを意識づけることにより、課題を解決したり探究したりする際の手段として、子どもが主体的に活用していけるようにします。

### 数学的な見方・考え方

「算数でつきたい考え方」として、類推、帰納、演繹といった数学的な考え方を子どもの言葉で示し、自分で考えたり、友だちと学び合ったりする際に使っていけるようにします。

また、「算数のミカタ」として、各領域を貫く数学的な見方にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。



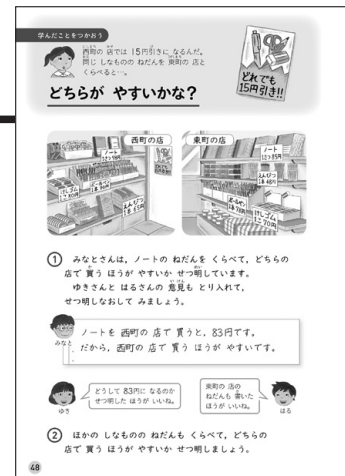
▲ Up.78



▲ Up.6

### 読解力・表現力

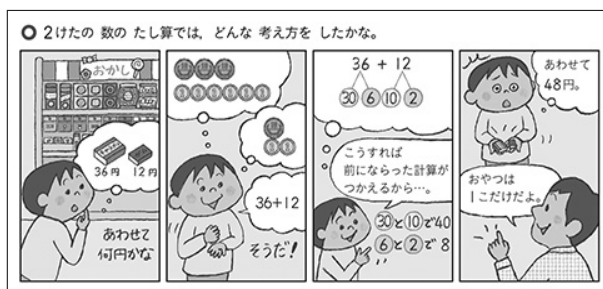
全国学力・学習状況調査のB問題では、記述式問題に課題がみられます。そこで、あえて不十分な説明を提示し、修正・改善のしかたを考える活動を取り入れることで、条件をおさえながら筋道立てて説明する力を育てるようにしています。



▲ Up.48

### 4 コマ漫画

単元まとめでは、学んだことのよさや考え方を振り返る4コマ漫画を設け、単元や領域を貫く数学的な見方・考え方を意識づけ、学びをつなげていきます。



▲ Up.36



▲ Up.44

# 3

## 生きて働く知識・技能の習得のために 学びと学びを系統的につなげる教科書

知識・技能は、一度で定着するものではありません。だから、確実な定着を図るために、既習事項を振り返りやすくしています。知識・技能を繰り返し用い、新しく学ぶことと既習事項を結びつけることで、理解が深まっていきます。

### 考えるヒント

単元まとめでは、各種学力調査でつまづきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載して、丁寧に指導・支援にあたれるようにしています。

- 1 計算をしましょう。
- ① 75+93    ② 87+38
  - ⑤ 146+8    ⑥ 233+37
  - ⑨ 107-58    ⑩ 105-7

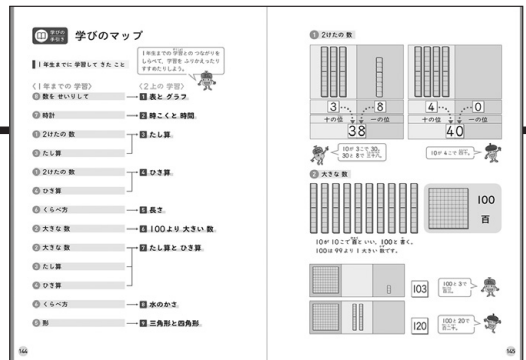
▲ Up.99



### 学びのマップ

既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。

▶ Up.144-147  
Tp.118-121



# 4

## 学びに向かう力、人間性等の涵養のために 学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書

### 学び方を学ぶ

巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「ココアはいくつ」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていきます。

### 何ができるようになるか

教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことをつかおう」、学年末「算数をつかって考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。



▲ Up.2-9

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 表とグラフ	育てたい野菜調べの題材を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを養うようにしました。(第4号)	上p.10
2 時ごとと時間	家庭での時間の使い方を直す活動を通して、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	上p.20
3 たし算	友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	上p.34
4 ひき算	品物の値段を比べて説明する場面で、友だちの意見も取り入れてよりよい説明に高める活動を通して、真理を求める態度、及び自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第1号, 第3号)	上p.48
5 長さ	しおりを作って1年生にプレゼントする題材を通して、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	上p.52
6 100より大きい数	全校集会や運動会の題材を通して、学校の組織・活動全体への関心を徐々に高め、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	上p.66, 71
7 たし算とひき算	ミニトマトを収穫する題材を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを養うようにしました。(第4号)	上p.86
8 水のかさ	暮らしの中で使う水のかさを紹介し、節水への意識を高め、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	上p.111
9 三角形と四角形	身のまわりのものの形や、美しい模様への関心を高め、豊かな情操を培うようにしました。(第1号)	上p.126
10 かけ算	九九の練習として、1人で練習する方法とともに、2人や3人で練習する方法も紹介し、自主及び自律の精神、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第2号, 第3号)	下p.22
11 かけ算九九づくり	友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	下p.42
12 長いものの長さ	自分で身のまわりのものの長さを調べ、長さの図鑑を作る活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	下p.51
13 九九の表	九九表からきまりを見つけ、そのきまりがいつでも成り立つかどうかを探究する活動を通して、幅広い教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下p.56～63
14 はこの形	単元で学習した知識・技能をもとに、自分で箱を作る活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	下p.68
15 1000より大きい数	使わなくなった紙を再利用する題材を通して、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	下p.71
16 図をつかって考えよう	求めた答えを、問題場面に戻して確かめるように意識づけることで、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下p.87
17 1を分けて	1/2という数を学んだことを発展させて、1/4や1/8という数を類推的に見いだす活動を通して、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下p.92～94
巻頭・巻末	日本の伝統的な美意識に関心が高まるよう、千本桜、秋田竿灯まつりの写真を掲載し、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	上・表2 下・表2

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

### ○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

### ○地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-29	小学校	算数科	算数	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 206 算数 207	小学算数 2上 小学算数 2下		

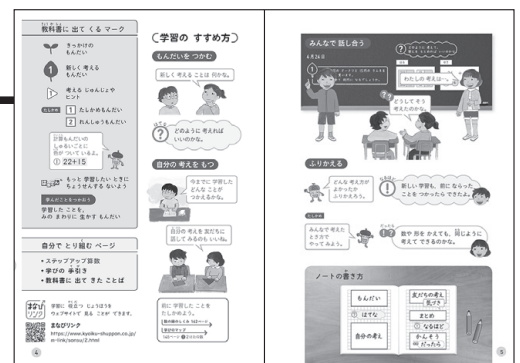
## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 1

## 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現

### 数学的活動

- 問題発見・解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!」のフキダシで示し、子どもの“問い”の連続によって学習を進めるスタイルを、授業展開の基本に据えました。
- 巻頭「算数をはじめよう!」では、このような算数の学習の進め方を学級で共有できるようにしています。(Up.2~5)

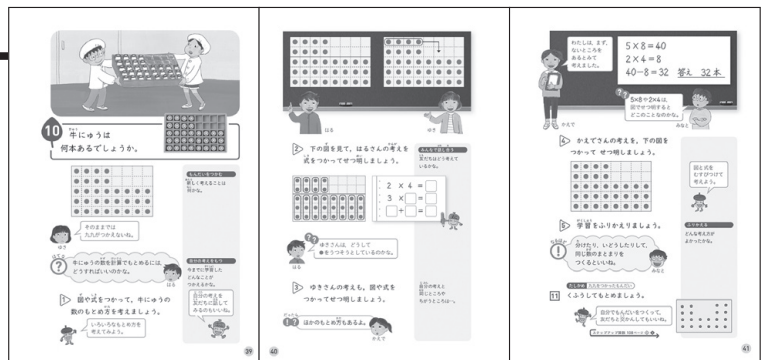


▲ Up.4-5

- 単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしています。また、単元末「学んだことをつかおう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「何ができるようになったのか」を実感できるようにしています。(Up.15, Up.20, Tp.46, Tp.51等)

### 主体的・対話的で深い学び

- 主体的・対話的で深い学びのモデルとなる授業展開を掲載しています(学年2回)。子どもの「はてな?」から学習めあてをつくり、学び合いを通して“問い”を深め、解決に用いた見方・考え方を振り返って「なるほど!」にまとめ、さらに、新たな“問い”へとつなげていきます。(Up.23~25, Tp.39~41)





▲ Tp.39-41

# 2

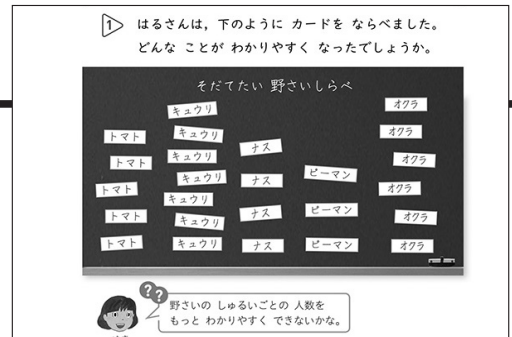
## 思考力・判断力・表現力の育成

### 数学的な見方・考え方

- 「算数でつかいたい考え方」として、類推、帰納、演繹といった**数学的な考え方を子どもの言葉で示し**、学び合いに使っていただけるようにしています。(Up.6)
- 「算数のミカタ」として、**各領域を貫く数学的な見方**にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。(Up.56, Up.78等)
- 答えを求めて終わりではなく、**新たな問題発見につなげる学び**（<sup>わかるよ</sup>  から <sup>だったら</sup> ）によって、**統合的・発展的に考察する力**を養います。(Tp.61, Tp.92～94等)
- 単元まとめでは、**学んだことのよさや考え方を振り返る4コマ漫画**を設け、単元や領域を貫く**数学的な見方・考え方を意識づけ**、学びをつなげていきます。(Up.36, Up.49, Up.98等)

### 言語活動と学び合い

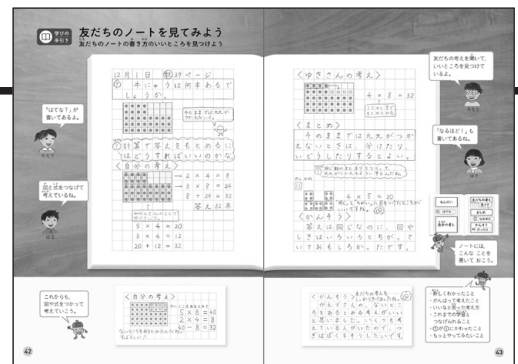
- 友だちの発表に対して質問したり付け足したりするフキダシを示し、**学びを深める話し合い**ができるようにしています。(Up.11, Up.24等)



▲ Up.11

### ノート指導

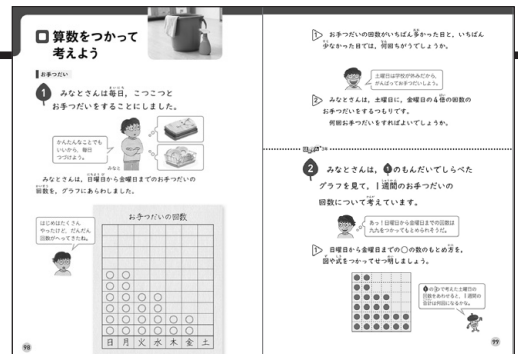
- 友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を設け、**学び合いを通してノート指導**ができるようにしています。(Up.34～35, Tp.42～43)



▲ Tp.42-43

### B問題への対応

- 全国学力・学習状況調査のB問題を踏まえ、**単元末と学年末の2段階で活用問題**を設けています。学年末「算数をつかって考えよう」では、複数の学習内容にまたがる総合的な活用問題を設定し、問題把握、見通し、実践、評価・改善といった一連の問題解決を通して、筋道を立てて考え表現する力を育成します。(Tp.98～99)
- B問題で課題がみられる**記述式問題**について、不十分な説明を提示してそれを修正・改善する活動を取り入れることで、**条件をおさえながら筋道立てて説明する力**を育てるようにしています。(Up.48)



▲ Tp.98-99

# 3

## 生きて働く知識・技能の習得

### つまづきやすい問題の意識化

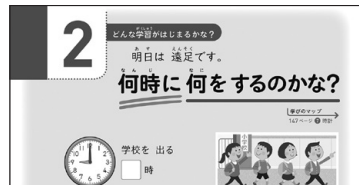
- 単元まとめでは、各種学力調査でつまづきが見られる問題に対して「考えるヒント」を掲載し、丁寧に指導・支援にあたるようにしています。(Up.81, Up.99等)

### 基礎的・基本的な知識・技能

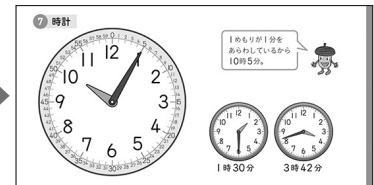
- 巻末の練習問題「ステップアップ算数」は「きほんのもんだい」と「ジャンプもんだい」で構成し、個に応じて、主体的に家庭学習に取り組めるようにしています。(Up.132～141, Up.107～115)

### 知識・技能をつなげる工夫

- 既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。(Up.144～147, Up.118～121)



▲ Up.15



▲ Up.147

# 4

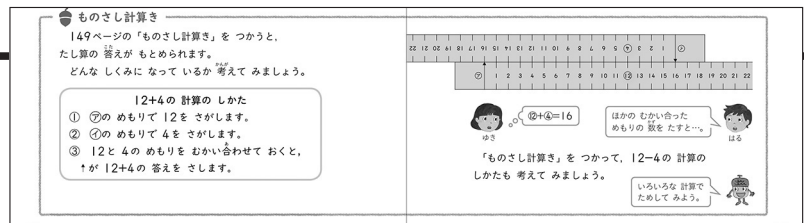
## 学びに向かう力、人間性等の涵養

### 学び方を学ぶ

- 巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「ココアはいくつ」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていけます。(Up.7～9)

### もっと学びたい意欲に応える

- 知的好奇心に応える特設教材やコラムを随所に設けています。(Up.64～65, Up.130, Up.81等)



▲ Up.64-65

### 何ができるようになるか

- 教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことをつかおう」、学年末「算数をつかって考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。



# 5

## その他の配慮事項

### 学年間の円滑な接続

- ・復習ページでは、次単元で使う知識・技能を確認する問題を設けています。(Up.65等)
- ・単元の導入などでは、既習事項をスパイラルに扱ったり、関連する内容にリンクしたりして、系統的に学習を進められるようにしています。(Up.15, Up.86等)

### 他教科等との関連

- ・他教科や学校の活動と関連した場面を題材として用いるように配慮し、必要感をもって学習に取り組めるようにしています。(Up.10, Up.66～67等)
- ・友だちと学び合い、互いのよさを認め合うなど、道徳科との関連を図っています。(Up.8, Up.34～35等)


### 個に応じた指導，家庭学習

- ・家庭学習のページ「ステップアップ算数」は、2段階のレベルで問題を構成し、理解の程度に応じて取り組めるようにしています。(Up.132～141, Up.107～115)
- ・単元まとめでは、「ふりかえろう (知識)」と「たしかめよう (技能)」に分けて、学習内容を簡潔にまとめているので、家庭学習等でも振り返りやすくなっています。また、「考えるヒント」は、つまずきがちな子どもへの丁寧な指導・支援として効果的です。(Up.80～81, Up.98～99等)
- ・脚注コラム「センスアップ」では、学習進度が速い学級や児童が取り組める問題を設けています。(Up.36, Up.49等)

### 特別支援・ユニバーサルデザイン

- ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

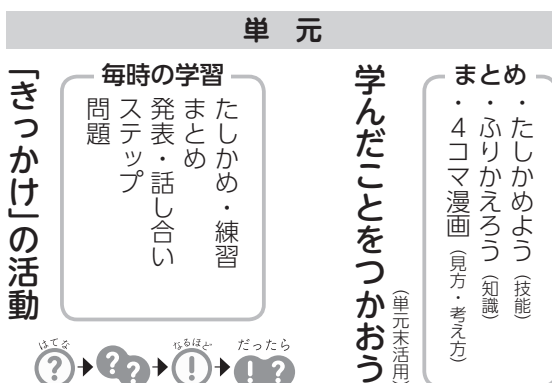
### コンピュータなどの活用

- ・ を付けたところでは、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習ができるようにしています。(Up.3「何人のっているかな?」、Up.25「九九の表」等)

### 教科書の構成

算数をはじめよう！

- ・ココアはいくつ (授業開き教材)
- ・算数でつかいたい考え方
- ・学習のすすめ方



ふくしゅう

算数ワールド (特設教材)

算数をつかって考えよう (学年末活用)

学年のまとめ

自分でとり組むページ

- ・教科書に出てきたことは
- ・学びのマップ (既習内容のまとめ)
- ・学びの手引き (図のかき方等)
- ・ステップアップ算数 (家庭学習)

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 表とグラフ	D (1) ア (ア) D (1) イ (ア)	上 p.10 ~ 14 上 p.10 ~ 14	3
2 時こくと時間	C (2) ア (ア) C (2) イ (ア)	上 p.15 ~ 21 上 p.15 ~ 21	4
3 たし算	A (2) ア (ア) A (2) ア (ウ) A (2) イ (ア)	上 p.22 ~ 37 上 p.31 ~ 32 上 p.22 ~ 37	9
4 ひき算	A (2) ア (ア) A (2) ア (ウ) A (2) ア (エ) A (2) イ (ア)	上 p.38 ~ 50 上 p.47 上 p.47 上 p.38 ~ 50	9
5 長さ	C (1) ア (ア) C (1) ア (イ) C (1) イ (ア)	上 p.52 ~ 64 上 p.62 上 p.52 ~ 64	8
6 100 より大きい数	A (1) ア (ア) A (1) ア (イ) A (1) ア (ウ) A (1) イ (ア) A (2) ア (イ)	上 p.66 ~ 70, p.75 ~ 76 上 p.66 ~ 81 上 p.74 ~ 75 上 p.66 ~ 81 上 p.79	10
■ たし算とひき算の図	A (2) ア (エ)	上 p.82 ~ 85	2
7 たし算とひき算	A (2) ア (ア) A (2) ア (イ) A (2) ア (ウ) A (2) イ (ア)	上 p.86 ~ 99 上 p.96 ~ 97 上 p.86 ~ 99	9
8 水のかさ	C (1) ア (ア) C (1) ア (イ) C (1) イ (ア)	上 p.102 ~ 112 上 p.110 上 p.102 ~ 112	7
9 三角形と四角形	B (1) ア (ア) B (1) ア (イ) B (1) イ (ア)	上 p.114 ~ 129 上 p.114 ~ 129 上 p.114 ~ 129	9
10 かけ算	A (1) ア (エ) A (3) ア (ア) A (3) ア (イ) A (3) ア (ウ) A (3) ア (エ) A (3) イ (ア) A (3) イ (イ)	下 p.6 下 p.2 ~ 9, p.19 下 p.2 ~ 9, p.19 下 p.10 ~ 18 下 p.10 ~ 22 下 p.2 ~ 22 下 p.2 ~ 22	20
11 かけ算九九づくり	A (1) ア (エ) A (3) ア (ア) A (3) ア (イ) A (3) ア (ウ) A (3) ア (エ) A (3) イ (ア) A (3) イ (イ)	下 p.39 ~ 43 下 p.36 ~ 38 下 p.36 ~ 43 下 p.25 ~ 35 下 p.25 ~ 35 下 p.25 ~ 44 下 p.25 ~ 44	18
12 長いものの長さ	C (1) ア (ア) C (1) ア (イ) C (1) イ (ア)	下 p.46 ~ 52 下 p.51 下 p.46 ~ 52	5
13 九九の表	A (1) ア (エ) A (3) ア (ウ) A (3) ア (オ) A (3) イ (ア)	下 p.56 ~ 64 下 p.62 ~ 63 下 p.56 ~ 64	6
14 はこの形	B (1) ア (ウ) B (1) イ (ア)	下 p.65 ~ 70 下 p.65 ~ 70	5
15 1000 より大きい数	A (1) ア (ア) A (1) ア (イ) A (1) ア (ウ) A (1) ア (オ) A (1) イ (ア) A (2) ア (イ)	下 p.71 ~ 73, p.75 ~ 76 下 p.71 ~ 80 下 p.74 下 p.78 下 p.71 ~ 80 下 p.77	7
16 図をつかって考えよう	A (2) ア (エ)	下 p.83 ~ 89	5
17 1 を分けて	A (1) ア (カ)	下 p.90 ~ 97	6
		計	142

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-29	小学校	算数科	算数	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 206 算数 207	小学算数 2上 小学算数 2下		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
上 72	算数メモ	1	A (1) ア (イ) 4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解すること。 上記に関連して、「数直線」という名称を知り、数の表し方及び数の大小や順序についての理解を深める。	0.25
上 117	算数メモ	1	C (1) ア (ア) 三角形、四角形について知ること。 上記に関連して、5本の直線で囲まれた形を、五角形ということを知る。	0.25
下 63	算数メモ	1	A (3) ア (オ) 簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。 上記に関連して、乗数が1増えれば積は被乗数分だけ増えるなどの乗法の性質をもとに、 $10 \times 10$ 、 $10 \times 11$ 、 $10 \times 12$ の答えの求め方を考え、乗法の計算についての理解を深める。	0.25
下 77	1200-500の計算	1	A (2) ア (イ) 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。 上記に関連して、1200-500の計算の仕方を、百を単位とした数の見方に関連させ、12-5を基にして考えることで、計算のしくみの理解を深める。	0.5
下 99	葉2 みなとさんは、葉1のもんだいでしらべたグラフを見て、1週間のお手つだいの回数について考えています。	1	D (1) イ (ア) データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察すること。 上記に関連して、1週間のお手つだいの回数を表したグラフから、回数の合計を求め、グラフの読み取りについて理解を深める。	0.5
合 計				1.75

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容